

VI 資料編

1 自由意見（主な意見を抜粋）

(1) 外国人意識調査（問 30）

特に困っていることに対する自由記述に262件の回答があった。問22「あなたは、日本での生活で、困っていることや心配なこと」の選択肢等に合わせて記述内容を整理し、主な内容について掲載する。類似内容のご意見は、その主なものを記載した。

①日常生活・言葉について

<日本語の読み書き、コミュニケーション>

- ・日本に暮らしていてとても幸せだが、唯一の問題は日本語がとても下手なことである。もし日本語がうまくなればすごく嬉しい。(ネパール・40～49歳)
- ・日本語学習を利用しやすくしてほしい。息子がインターナショナル・スクールに通っており、言葉の壁のために地域の友達がいらない。(インド・40～49歳)
- ・私は日本語が挨拶程度しかできないので、台東区の日本語教室にぜひとも参加したい。(中国・60～69歳)
- ・日本語を勉強して、暮らしを楽しめるようになりたい。(中国・40～49歳)
- ・長年にわたり日本で生活しているが、日本語が上手にならないのが最大の悩みである。上手く伝えることができないし、相手の言っている意味を完全に理解することができない。(中国・40～49歳)
- ・日本語を勉強したい。(中国・40～49歳)
- ・日本語が苦手なので日本人に教えてもらいたい。(ベトナム・30～39歳)
- ・何かあるとすればほとんどコミュニケーションスキルの欠如だと思う。自分の考えを明確に、不自由なく表現することは非常に重要なことである。(フィリピン・30～39歳)
- ・先生が子供に課題を出したり、母親の参加が必要になったりするとき、母親は理解できていないのだけれど、先生との約束の時間どおりにとりあえず行っている。日本語は聞き取れることは何とかできるが、コミュニケーションをとったり自分で話したりすることがあまりできない。(タイ・30～39歳)
- ・日本語がまだあまり上手ではない。(タイ・50～59歳)
- ・私は仕事をしていないため、託児所の申し込みを断られた。そのため、日本語を学ぶ教室に通えない、仕事を探せないなど、大きな問題が起こった。また、子供は同じ年頃の子供と一緒にいて学ぶ時間を失っている。(インド・30～39歳)
- ・ときどき日本語を学んでいる。(インド・30～39歳)
- ・日本語で会話ができないので、日本人とコミュニケーションが取れない。(中国・30～39歳)
- ・大学受験が難しい。日本語ができない。(中国・18～19歳)

- ・日本語が流暢ではないので、外に仕事に出ることに憶病になってしまう。子供に宿題を教えることができない。先生や他の保護者とのコミュニケーションも全ては理解できないし、自分の子供と話していても全てを理解できないので、子供との間に問題が生じてしまう。(タイ・40～49歳)
- ・日本語が上手になるために、いろいろなイベントに行きたい。(ミャンマー・20～29歳)
- ・外国人の日本語クラスへの入学をもっとフレキシブルにしてできるだけ早くクラスに参加できるようにしてほしい。(中国・20～29歳)

<税金や保険料、各種手続き等>

- ・シングルマザーで給料が少なく、半分以上が家賃、残りが生活費で足りなくなっている。税金などを払うのが大変だが、少し安くすることはできないか。(その他・30～39歳)
- ・税金と、高い上に将来の受給が定かでない年金に時々差別も感じる。(その他・30～39歳)
- ・保険料の減免をお願いしたい。感染状況が続く中で国内の経済状況が悪化しており、私たち家族は保険料が支払えない。(その他・40～49歳)
- ・家賃、税金その他の支出額がとにかく高すぎる。(インド・30～39歳)
- ・税金の支払いを予定通りできず、少し遅れて払うことになる。(中国・30～39歳)
- ・現在、個人事業主として独立しているが、税金問題や給付金についてどうやって申請するか分からない。相談できる人がいない。(中国・30～39歳)
- ・税金と健康保険料が高すぎる。学費を払わなければいけないので大変である。健康保険は利用したことがないのだが、1年間アルバイトで稼いだお金も百何十万円だけで、この2年間毎年十何万の保険料と税金を支払っている。(中国・30～39歳)
- ・税金がとても高い。妊娠、育児のためやむを得ず会社を退職することになった。退職したので、国民年金、国民保険の料金が高すぎるので減免してほしい。手続きがややこしい。(台湾・30～39歳)
- ・国民健康保険料が高いので減免できないか。(中国・20～29歳)
- ・収入が減ったため、住民税を減らしていただきたい。(中国・30～39歳)
- ・ビザの更新や税金、年金について困っている。(香港・30～39歳)
- ・あまり病院に行かなかったのに保険料が高い。(中国・20～29歳)
- ・保険料などが上がってしまった。(中国・20～29歳)

<役所等での色々な情報や手続き、仕組み>

- ・年金システムが理解できない。全て日本語で書いてある。政府のさまざまな補助金、ローン、事業支援も全て日本語で書いてあり分からない。言葉の問題で(英語が通じない)Covid-19に関する経済支援や相談が受けられない。(インド・30～39歳)
- ・主な問題は、日常生活についての具体的な情報の翻訳が不足していることである。(その他・20～29歳)
- ・地元のイベントについての英語の情報は全くない。台東区の日本語教室のことも全く知らなかった。(その他・20～29歳)
- ・ほとんどの書類や情報が日本語版しかないのが最大の問題である。私は1年間日本語を勉強したが全く足りない。その上、区役所にはめったに英語を話せる人がいない。(その他・30～39歳)

- ・区役所に「英語を話せます」というバッジをつけた通訳者がいたら本当に素晴らしいと思う。港区と渋谷区にはいる。台東区が大好きである。(その他・50～59歳)
- ・マイナンバーカードの意味が分からない。カードがいまだに届かない。中国の深セン市のように、オンラインで全ての行政サービスが出来ると便利である。デジタル化を進めて欲しい。(中国・30～39歳)
- ・日本語で書かなければならない申込書類が非常に多い。(その他・40～49歳)
- ・帰化を考えているが、手続きが複雑であるようだ。(中国・20～29歳)
- ・帰化するにはどういった手順が必要か少し気になる。(韓国・朝鮮・30～39歳)
- ・不用品や壊れ物をリサイクルしたいが、どこに持って行けば良いか分からない。(韓国・朝鮮・40～49歳)

<物価>

- ・果物と野菜がかなり高価だが、品質は非常に良いようで、これまで住んだ多くの国のどこよりも美味しい。(韓国・朝鮮・40～49歳)
- ・以前住んでいた杉並区より、食品や生活用品の値段が高いため、日々の生活に困っている。(中国・30～39歳)
- ・台東区の物価が高く、生活が苦しい。(中国・30～39歳)

②住まい・居住環境について

<家賃>

- ・台東区には手頃な価格の住宅がない。(インド・20～29歳)
- ・以前は2か所、今は1か所で仕事をしているが費用が大変なので、早く部屋を移りたい。(ミャンマー・40～49歳)
- ・家やアパートを借りる際の「礼金」が困る。(韓国・朝鮮・40～49歳)
- ・家賃が高く、2人で住む家を借りられない。(中国・20～29歳)
- ・台東区の家賃相場は高い。もし家賃が安くなれば、ずっと台東区に住み続けたい。(中国・30～39歳)
- ・子供たちと現在住んでいる家は非常に狭く、賃料が高いため、公営住宅に入る機会を与えてもらいたいと強く思っている。(フィリピン・40～49歳)
- ・家賃が高い。来年の契約更新前に引っ越したい。(タイ・30～39歳)

<近隣の騒音や迷惑行為>

- ・7階建のマンションに、10家族ほどの住人(ほとんど日本人)と住んでいるが、一部の住人のマナーの悪さに失望した。彼らはリサイクル・ボックスを絶対に開けず、ボックスの横にゴミを放置するので、毎週日曜日に外国人である私たちがボックスを開けてゴミを分別している。本当に最悪である。(その他・30～39歳)
- ・近隣に外国人が多すぎる。彼らは子供が寝ている夜に通りを歩く。ひどい騒音を立てるし、近隣住民への配慮が全くない。(その他・30～39歳)

- ・上の階に住んでいた人が非常識で、夜中まで家具を移動したり、大きな足音を立てていた。我慢できず、管理人に相談し、ドアに注意書きを貼っても改善しなかった。引っ越していくまで地獄の日々だった。インターネット検索したらよくある事らしく、警察を呼んでも改善されないの、悪質な住人への対策を考え、実施して欲しい。(中国・20～29歳)
- ・何となく、近所の人から見られていたり、家の前の植物にいたずらをされたり、ゴミを捨てられたり、いじめかわからないが心配である。(香港・50～59歳)
- ・マンションの入り口前に住人もしくは他人の自転車が停まっているので出入りが不便である。共有のスペースではないのかと管理会社の方にも言っても解決してもらえない。(台湾・30～39歳)
- ・夜間工事の音が本当にうるさくて毎日寝不足である。(中国・20～29歳)
- ・家が交差点の角地にあるので、大きいトラックが通るたびに揺れる。基本的に毎日地震のようなものだが、土曜日の昼ごろ1時間10回以上「地震」が起きている。警察にも相談してみたが、何もやってくれなさそうだ。なんとかならないか。(中国・30～39歳)
- ・近くで建築工事をしていて、昼間その工事の音が大変うるさい。(中国・30～39歳)
- ・ガソリンスタンドの隣に住んでいるが、ガソリンスタンドがうるさい。(中国・20～29歳)

<保証人や住宅ローン、ビザの問題>

- ・日本にいる外国人が利用できる住宅ローンがない。(インド・20～29歳)
- ・家賃、税金その他の支出額がとにかく高すぎる。銀行は私たちにはお得な住宅ローンを提供してくれない。(インド・30～39歳)
- ・私は期限には各種税金を納めて、日本に長年住んでいるが永住資格がないので、家を買うには30%の頭金が必要である。子供も永住身分がないので大学に合格しても授業料無料やローン資格がないので、毎年全額自分で支払う必要がある。(中国・40～49歳)
- ・新しい家を探すことで困っている。例えば、保証人が必要、外国人は借りさせてもらえない、小さい子供がいると許可がおりない。(ベトナム・20～29歳)
- ・私たちは一家で一生日本に住み続けたいと思っている。台東区で住宅を購入しローンを組みたいが、ローンの要件は定住ビザを持っている事とあり、私たちのビザは3年なのでローンが組めない。(フィリピン・40～49歳)
- ・部屋を借りるのを不動産屋に拒否されることが多い。(タイ・30～39歳)
- ・不動産の購入が難しい。(中国・30～39歳)

③地域活動について

- ・日本の台東区での生活を楽しんでいるが、一つだけ、コミュニティとのつながりが感じられない。ほとんどの時間を仕事に取られており、日本語の学習やコミュニティのイベントにあまり時間を割けない。(アメリカ・20～29歳)
- ・ローカルコミュニティとのかかわりは、英語が喋れる人々や、私の日本語の理解の遅さに落胆することなくやさしい日本語で話しかけてくれる人たちに限られてしまっている。(フィリピン・30～39歳)

④病院・医療について

<医療機関での通訳スタッフ等の整備>

- ・医療関係の英語を話せる人が全くいない。(その他・20～29歳)
- ・英語を話す医師を探すのも難しい。(その他・20～29歳)
- ・健康診断に行きたいが、クリニックでは誰も英語を話せず、書類は全て漢字(日本語)で、話しかけて補助してくれる人もいないので、行きたくない。非常に不満である。(その他・30～39歳)
- ・病院に翻訳者や通訳者がいないため、医師やスタッフとコミュニケーションを取るのが難しい。また、道具や装置の記号や説明書が日本語で書いてある。(その他・30～39歳)
- ・多くの病院に通訳スタッフがいないので、別の区の病院に行かないといけない。(中国・40～49歳)
- ・日本に来てから健康上問題があり、病院で医者とコミュニケーションが取れず症状を伝えられないので、病院に各国語の通訳スタッフを置いてほしい。(中国・20～29歳)
- ・年に1度の健康診断を受けている。英語を話せる医師、または検診に同行してくれる通訳をどうやって見つければ良いか分からない。(アメリカ・50～59歳)

<緊急時の医療支援や、病院の情報等>

- ・緊急時の医療支援について全く情報がない。(インド・40～49歳)
- ・病気の治療をしているが、なかなか治らず困る。良い病院を知りたい。(台湾・60～69歳)
- ・今、妊娠していて産婦人科の件で困っている。(韓国・朝鮮・30～39歳)
- ・一般的な健康診断をどこで受ければ良いか、よくわからない。(アメリカ・30～39歳)

⑤就労について

<収入、仕事の減少>

- ・年収が減少した。(その他・40～49歳)
- ・仕事がないので貯金が減った。(ミャンマー・30～39歳)
- ・仕事をそろそろ解雇されそう。将来的に帰化できるか、台東区、東京都、政府からの援助を受けた後に、永住ビザを申請することは悪い影響がありそうである。(中国・30～39歳)
- ・解雇の危機に瀕している。(韓国・朝鮮・20～29歳)
- ・仕事の一つがなくなり、今残っている仕事も給料が減ってしまったため、アパートの賃料を払うのが少し大変である。(フィリピン・40～49歳)
- ・給料支払いの遅延についてである。このため2020年はほとんど税金を払うことができない。助けていただきたい。(フィリピン・30～39歳)
- ・失業保険がない。給料が減った。(タイ・30～39歳)
- ・収入が減ったため、住民税を減らしていただきたい。(中国・30～39歳)
- ・日本の滞在ビザの件について、勤務先のホテルの業績が下がっており、自分の契約更新がされるか分からない事である。(フィリピン・30～39歳)

<就職活動、仕事の探し方の相談>

- ・教師として学校で働きたいが仕事がない。(インド・20～29歳)
- ・主人の家族滞在ビザで一緒に生活しているが、仕事に就いて就労ビザに変えたい。ビザの切り替えをしてくれる会社には雇ってもらえず、すぐに雇ってくれそうな会社はビザをサポートしてくれない。出来れば就労ビザを取って会社で働きたい。または、自分で会社を立ち上げたい。(中国・30～39歳)
- ・ビザ更新のために必要な専門的な職業の仕事は探すのが難しい。(中国・20～29歳)
- ・仕事とビザのことで困っている。(中国・50～59歳)
- ・留学生は卒業してから就職するのが難しい。(中国・30～39歳)
- ・来年の3月に卒業して日本で就職したい。新型コロナウイルスの影響で今年は例年より難しい状況になり、うまく仕事を探すことができるか心配である。(中国・30～39歳)
- ・日本で法人を立ち上げてビジネスを始めたいが、起業するにあたって相談できる場所が分からない。(韓国・朝鮮・40～49歳)
- ・正規雇用の仕事を探す事で困っている。(フィリピン・30～39歳)
- ・ウェブサイト上だけでは仕事の詳細を全て理解することができないので、仕事探しに限界がある。(タイ・30～39歳)
- ・日本語をあまり使わない仕事に就きたいが、どこで仕事を探せばよいのか、誰に相談すべきか分からない。(タイ・40～49歳)
- ・来年には専門学校を卒業する。コロナ感染拡大の影響で現在から就職活動で仕事を探しているが、見つからなくて大変な状況に陥っている。もし万が一仕事を見つけなければビザを更新できなくて帰国しなければならない。そういう事で心配している。(ベトナム・20～29歳)

<転職活動>

- ・私の資格に関連し、かつ相応な給与を得られる職を探すのに苦労している。(その他・20～29歳)
- ・転職の仕方がわからない。仕事を得たが、転職したいのでガイダンスが必要である。来年は問題なくビザが更新できる。(インド・30～39歳)
- ・仕事が見つからず各種支払にストレスを感じている。(フィリピン・30～39歳)
- ・3ヶ月職探しをしているが採用してくれる会社がない。(中国・20～29歳)
- ・失業後、新しい仕事がなかなか探しにくい。(中国・30～39歳)

⑥災害について

- ・近くの避難場所はどこで、備える物は何かわからない。(中国・30～39歳)

⑦保育・教育・子供のことについて

<幼稚園・保育園の確保、預け先>

- ・子供の預け先が見つからない。システムが理解できない。(インド・30～39歳)
- ・子供を保育園に預けたいが、認可保育園に入れるかどうか不安である。(中国・30～39歳)

- ・子供が3歳になり、幼稚園を探すことが難しい。(中国・40～49歳)
- ・子供が10月で満1歳になるが、保育園は夫婦ともに仕事をしていないと預けることができないと聞いた。子供を預けないと仕事をすることができないので、保育園はいつから申請できるのか知りたい。(韓国・朝鮮・30～39歳)
- ・私はシングルマザーで、子供は今ベトナムに住んでいる。来年には子供を日本に迎え、保育園に入れたいので入園を助けてほしい。息子と一緒に住みたい。(ベトナム・30～39歳)
- ・働きたいが保育園の空きが全くない。病気になった時子供の面倒をみてもらえるところがない。みてもらいたくても何日か前に申請しなくてはならない。(ベトナム・30～39歳)
- ・シングルマザーで、子供をみてくれる人がいないので仕事に出ることができない。できれば自分で稼ぎたいが、できるかどうか心配で迷っている。(フィリピン・40～49歳)
- ・仕事をする間、安価で子供を預けられる場所がないことが現在非常に困っている。(フィリピン・30～39歳)
- ・子供のために託児所を探すのが大変だった。(インド・30～39歳)
- ・保育園が少ないから、子供たちが保育園に入れない。(中国・20～29歳)
- ・どのようにしたら子供を保育園に入れられるのかがわからない。(中国・30～39歳)
- ・子供が生まれると保育園に預けられるか心配だ。(中国・30～39歳)
- ・今、子供のために幼稚園を探しているところなので、幼稚園の子供(3歳以上)の幼稚園に関する色々な情報がもっと欲しい。(タイ・30～39歳)

<学校や受験・進路先の情報を得ること>

- ・進学について困っている。(その他・20～29歳)
- ・良い学校、お勧めの学校についての情報を得るのはいつも難しい。(その他・40～49歳)
- ・息子が小学校に入学予定だが、どの学校がいいか分からない。日本の受験などの一般的ではない進学の方法が分からない。ずっとインターナショナル幼稚園に通わせているが、これからの進路が分からない。(中国・40～49歳)
- ・大学受験について困っている。(中国・18～19歳)
- ・子供の学校の受験があるが、どの学校をどのように受けたらいいか受験制度がわからない。(中国・40～49歳)
- ・台東区内にある全てのインターナショナルスクールの情報が欲しい。こうした情報があれば、子供の学校探しや、学校への申し込みを決める際に参考にできる。(タイ・30～39歳)
- ・大学受験が難しい。日本語ができない。(中国・18～19歳)

<妊娠・出産について>

- ・妻と私は子供を持つと考えているが、妊娠や育児について台東区にはどんなサービスがあるのかわからない。(その他・20～29歳)
- ・今、妊娠8ヶ月で不安がいっぱいである。(中国・30～39歳)

- ・小さい子供がいるので、小児科が少なくて困る。子供用品やオムツを売っているお店が少ない。物価が高い。(韓国・朝鮮・30～39歳)

⑧新型コロナウイルス感染症の影響について

<収入の減少>

- ・コロナのために仕事のシフトがなくなり、給料が減った。生活が大変である。ネパールでも同様にロックダウンのため、両親は私の学費や生活費を払えない。(ネパール・20～29歳)
- ・コロナのせいで仕事もあまりできず、学校も朝から夜までであるので少し大変になっている。(ミャンマー・20～29歳)
- ・コロナのため労働時間が減り、経済的に困っている。例えば、毎年の住民税、ビザ申請(通常は問題ないが、手元の現金が少ないため、更新料と翻訳料と写真代の8000円程度を出すのが難しい)などである。(その他・40～49歳)
- ・台東区の新型コロナウイルスの情報を外国人にしっかり伝えてもらえるか心配である。ワクチンの接種については日本人と同等に受けられるのか心配である。(中国・30～39歳)
- ・(新型コロナウイルスで)仕事先の店が3月から休みとなり、収入が無くてとても困っている。(中国・50～59歳)
- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、現在仕事を失っている。収入がなくまともに生活ができず、家賃、生活費が大きな負担となっている。こうした困難に対して、区に援助してもらえるとありがたい。(中国・30～39歳)
- ・新型コロナウイルスの影響で仕事を失った。急いで仕事を探しているが、なかなか決まらない。台東区の物価が高く、生活が苦しい。(中国・30～39歳)
- ・新型コロナウイルスで給料が減った。(中国・30～39歳)
- ・転職活動中で、新型コロナウイルスのせいで大変難しい状況になっている。(中国・30～39歳)
- ・新型コロナウイルス感染症により、父母が完全に失業した。私自身は大学入試を目前に控え、高額な学費が必要になるので悩んでいる。区役所で必要なサポートをしていただくと大変ありがたい。(中国・18～19歳)
- ・新型コロナ感染症により仕事を失い、家賃も水道・電気代も支払いが大変である。日本語のレベルが低くて仕事に就けないのが一番の問題である。(中国・40～49歳)
- ・台東区には、現状のように新型コロナ感染症により賃金が減少した区民に対する援助など、福祉政策はあるのか。(中国・40～49歳)
- ・新型コロナウイルスにより、アルバイトの時間数が減り、給料が減った。そのため、昨年の収入によって算出された区民税、年金、国民健康保険料を支払うことが辛かった。そして減免申請も難しかった。(中国・20～29歳)
- ・新型コロナウイルスで仕事がなくなった。(中国・40～49歳)
- ・新型コロナウイルスの蔓延により会社が廃業になったので、日本に居るための在留資格がなくなった。あと1年仕事をすれば帰化資格が申請できるのに、自分の国に帰りたくない。日本を離れたくないので助けてほしい。(中国・30～39歳)

- ・新型コロナウイルスの影響で仕事の収入が減った。短期間のアルバイトや給付金についての情報を知りたい。(台湾・30～39歳)
- ・新型コロナウイルスの影響で仕事の収入がなくなった。就職環境が良くなく、外国人として仕事探しがとても厳しくなっている。(台湾・20～29歳)
- ・失業して収入が無いのに、住民税、年金など税金は納めなければいけない。新型コロナウイルス感染症による場合の補助や減免など手立てがないか。(台湾・30～39歳)
- ・新型コロナウイルスのため収入が非常に少なく、生活するのが大変である。(韓国・朝鮮・20～29歳)
- ・新型コロナウイルスのため職を失った。日本政府に税金をきちんと支払っているため、給付金制度に申請したが、給付金を受け取れるか不安だ。生活していくのに困難を感じている。(韓国・朝鮮・60～69歳)
- ・コロナの影響で今は仕事がない。アパートの家賃や様々な支払いに問題を抱えている。(フィリピン・40～49歳)
- ・このパンデミックで、勤務先のホテルの宿泊者がいなくなり、給料が減ってしまった。状況は理解するが、勤務先との話し合いなしで他の仕事を始める方法があればいいと思う。(フィリピン・50～59歳)
- ・コロナの影響で働ける時間が減らされた。金銭的な問題、健康保険料をどうすればきちんと払っていいのか。(フィリピン・40～49歳)
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少した。外出する機会も減少している。(中国・30～39歳)
- ・コロナのせいで夫の収入が凄く減少したので、保険料を減らして欲しい。(中国・20～29歳)

< 自国への帰国、再入国 >

- ・祖父がガンなのでロシアに行きたいが、今日本を離れば戻って来られないかもしれない。また、コロナウイルスの影響でインターンのポジションが減っており、必死で探している。さらに、大学が閉鎖されて授業が全てオンラインなので、友人に会うことも減った。(その他・20～29歳)
- ・新型コロナウイルスにより、自分の国と日本の往来が難しく困っている。(中国・30～39歳)
- ・現在妊娠中なのだが、新型コロナウイルスのため母親が日本に来ることができないため、大変不安である。(中国・20～29歳)
- ・新型コロナウイルスにより、妻のビザがおりず日本に帰ってこられない。(中国・40～49歳)
- ・大学4年生だが、新型コロナウイルスで2月の春休みからキャンパスに行っていない。秋学期もオンライン授業になった。このまま最後の1年間がオンラインで終わってしまい、とても寂しい。帰国便の飛行機も飛ばず、日本に戻れるか心配である。(中国・20～29歳)
- ・国に帰りたいが帰れない。母を日本に迎えたいが現状ではそれもできない。(中国・20～29歳)
- ・コロナのせいで収入が減り、国に帰りたい。帰れないのは、日本に戻るのが大変だからである。(タイ・30～39歳)
- ・新型コロナウイルス感染症の流行で帰国したら日本に戻るのが大変なため帰国できず、精神的ストレスが溜まっている。(台湾・30～39歳)
- ・結婚して2年になり、生活の全てを日本に移した(健康保険と年金制度)。もうすぐ子供が生まれるが、ビザを更新しても在留期限が1年しかない。毎年、国外追放されるかと不安である。さらに、最近ではコロナの影響で、出国すれば再入国を禁じられるリスクがある。感染率の高い国から戻って来た日本人も、科

学的には同じようにコロナを持ち帰る可能性があるのだから、本当に不公平だと思う。状況が複雑なのは理解しているが、外国人居住者にとっては、本当にひどい差別だと感じている。仕事を失い、大学に入学できなくなり、家賃や健康保険、年金などを支払いながら、その恩恵を受けられない人たちもいる。(その他・30～39歳)

- ・長期滞在者や在住者の再入国拒否が9月1日に解除されたにも関わらず、措置が不明瞭かつ不明確で、メッセージがクリアに伝わっていない(外国語だけでなく日本語でも)ことを再確認させてほしい。(その他・30～39歳)
- ・コロナの発生場所、発生状況、再入国許可状況を知りたい。(韓国・朝鮮・20～29歳)
- ・新型コロナによる影響として、中国に出張した場合、再度日本に戻るのか、また、外国人はいつ入国許可になるのか。(中国・30～39歳)

(2) 日本人意識調査 (問 23)

地域に暮らす外国人に期待することに対する自由記述に227件の回答があった。問18「住民相互の理解を深めるために、地域に暮らす外国人に求めることは何ですか」の選択肢に合わせて記述内容を整理し、主な内容について掲載する。類似内容のご意見は、その主なものを記載した。

①日本語を勉強し、会話ができるようにする

- ・片言でもいいので日本語でコミュニケーションが成り立つような、ストレスフリーなコミュニケーションができるように努力してほしい。(40～49歳)
- ・日本語を理解してほしい。都合の悪い時は言葉が通じないなどがある。(60～69歳)
- ・日本語が伝わらずお願いができないことがあり頼めない。わかっているのかどうかの返事がないので、わかっていないと思ってしまう。そのため孤立している気がするので、日本語を理解してほしい。(40～49歳)
- ・日本人との交流をあまり望んでいないように感じるので話しかけづらい。自国の人たちだけでかたまって話をしているので、日本語を覚える気はないのだろう。お互いに、笑顔でまずは挨拶できるとよい。(60～69歳)
- ・日本に住むのであれば日本語を習得すべきである。(40～49歳)
- ・コンビニで働いている人くらいしかわからないが、たまに言葉が通じないと思うことはある。(50～59歳)
- ・例えばアドバイスを伝えるにも「日本語がわかりません」といった感じがあるような気がする。(40～49歳)
- ・読み書きは後回しでもいいので、日本語で話せるようになってほしい。せっかく日本にいるのに自国の言葉だけで暮らしている人々が意外に多い。区の支援の発信は多言語対応すべきだが、利用する場合には日本語が話せないと実際は対応できない。(50～59歳)
- ・日本語を理解するように努力してほしい。(50～59歳)
- ・日本語を知ってもらうのではなく、まずこちら側も受け入れる体制を整える環境を増やす。(20～29歳)
- ・最低限の会話はできるようにしてほしい。(70～79歳)
- ・コミュニケーションが取りづらいので、それが解消されれば良いと思う。(40～49歳)

②日本の日常生活における習慣やルールを守る

- ・日本の生活習慣や地域のルール、マナーを守ってほしい。(30～39歳)
- ・日本で暮らすなら日本のルールを守ってほしい。区として支援するのは良いことかもしれないが、日本人で苦勞している人もいるので日本人に対して税金を使用し、支援した方がいいのではないかと思う。(70～79歳)
- ・外で大きな声で話さないでほしい。粗大ゴミなど汚く放置しないでほしい。(70～79歳)
- ・ゴミ出しや自転車の置き方や乗り方等のマナー。大きな声で夜遅くまで騒ぐので、そういったことが改善していったらいいと思う。(50～59歳)
- ・海外旅行が趣味なので拒否感はない。ただ暗黙のルールが多いので、それを破られると複雑な気持ちにはなる。犬の糞や尿など。(50～59歳)

- ・お互いにルールを守り交流を深めたい。(50~59歳)
- ・「郷に入っては郷に従え」と言うように、全ては日本社会に合わせなくても、9割は日本に、1割は自国の習慣に合わせて生活できるようにする。(70~79歳)
- ・昔から住んでいる外国人は良い人が多い気がする。新規で住む方にはぜひ日本のルールや文化をよく知って守って、のびのびと生活してほしいと思う。(30~39歳)
- ・外国人の定義がよくわからないので答えようがない。旅行者のことなのか留学生のことなのか、日本国籍のない永住者のことなのか。また白人や黒人であっても日本国籍の人はいるだろうし、日本人と外見は同じでも中国人や在日も含めて韓国人の場合もあるだろう。日本の法と秩序を守り、日本人の生活や文化や伝統を尊重するのは、日本に住んでいれば当たり前で、日本人が外国へ行ってもそう思う。(50~59歳)
- ・窓からゴミを捨てるので困る。ゴミをきれいに出示してもらいたい。(80歳以上)
- ・川にゴミを捨てないでほしい。ゴミ箱を置いた方がいいと思う。(40~49歳)
- ・互いに認め合い、日本の習慣を認めるしかない。日本人が他国に住んだらその国の習慣に従うべきである。(80歳以上)
- ・現在、自分が住んでいる地域の特性もあるのか、アジア系の若者が多く、何人かでまとまって横広がり歩いたり、食べ歩きやゴミのポイ捨てが非常に目立つ。決して偏見はなく、逆に支援、応援したいと思っているが、やはり日本でのマナーやルールは守ってほしい。(60~69歳)
- ・日本で暮らす外国人なら日本の生活ルールを勉強して、仕事や子育てしてほしい。言葉が通じないために、私共も声をかけられない。他国に来て働くだけでは淋しい限りである。(80歳以上)
- ・自宅のまわりは、いつも掃除してきれいにしてほしい。(70~79歳)
- ・話し声を控えめにしてほしい。子供を道路で遊ばせない。電柱に洗濯物を干さない。日本人の気持ちを理解してほしい。(50~59歳)
- ・台東区で生活する外国人は、ごみ捨て、マナーに気を付け、環境を整えてほしい。(60~69歳)
- ・場所柄、観光客と住民の区別は難しいので相手から話しかけられない限り、こちらから声をかけることはない。多言語化をしているということだが、台東区に限っては入居の際、不動産屋から該当する生活便利帳を渡すことを義務化するなどしてみてもどうか。たかがゴミ出しだが、私たちのルールを守ってくれていると思うと、お互い良い印象を持つことができる。(50~59歳)
- ・入国したその国の文化やしきたりなど、最低限でいいから守ったり学んだりして、外国人はイヤと拒否されないように他国にいることを意識して行動してほしい。(70~79歳)
- ・日本の生活の中のゴミ捨てルールは特に守られないと不快である。入国時にきちんとルールがあることを説明し、地域のルールを守れるようにしてほしい。(60~69歳)
- ・言葉や仕草が日本人から見ると、雑に見えたりすることがあるので、もう少し日本で暮らすルール、理解を深めてほしい。(30~39歳)
- ・今現在はコロナによって外国人観光客がいないので以下のような様子は極めて見なくなったが、以前は浅草寺の公衆トイレの使い方が非常に汚く、残念に感じていた。観光客相手のガイドをされる際に、日本のマナー(トイレの使い方や道の真ん中で立ち止まり通行人に迷惑をかけない等)を伝授してもらえるような仕組みがあるとよい。(40~49歳)

- ・隅田川沿いで騒いだり、夜中に集まって迷惑駐車をしたり、そういったことをしないことを期待する。場所や時間をわきまえてほしい。(20～29歳)
- ・観光客の外国人は多かったが暮らす人というのはごく少数のように思う。ルールを周知し、トラブルのない生活が共生できたらよいと思う。(40～49歳)
- ・今まで私にはトラブルもなかったのでこのまま継続して生活していただけたらと思う。(50～59歳)
- ・外国人との交流は良いことだと思う。一方、過去に住んでいた外国人の方のマナーが大変悪く、かなりトラブルに悩まされる時期があった。騒音に加え、住み方についてわかっていながら平然と違法行為を行うなど、そのような人達ばかりではないと思うがかなり慎重に考える面がある。(50～59歳)
- ・日本のルールを理解し、尊重できる方には住んでほしいし応援もしたい。(40～49歳)
- ・信号を守ろう。(60～69歳)

③近所の人へのあいさつや声をかけあう

- ・同じ地域で、日本の知人を作り、挨拶したり、挨拶されたりしながら、日々を安全に安心して暮らしてほしいと思う。(50～59歳)
- ・あいさつや声掛けなどを気軽にしてほしい。(40～49歳)
- ・笑顔で普通に話しかけてくれる外国人もいれば、目つきも悪く、あまり関わりたくない外国人もいる。(60～69歳)
- ・近所に住んでいる外国人の方と挨拶ぐらいはしたいと思うが、会っても下を向いてしまいなかなか挨拶ができないのが残念である。(40～49歳)
- ・挨拶をすることが大切である。高齢者は言葉がわからないが、気持ちはわかる。(50～59歳)
- ・何か困っていたら気にせず話しかけてほしい。(20～29歳)

④地域の行事に積極的に参加する

- ・地域になじみ地域に貢献するように努力してほしい。(70～79歳)
- ・地域の行事に参加して台東区の活性化に力を貸してほしい。(60～69歳)
- ・コミュニティ活動に参加してほしい。(70～79歳)
- ・台東区の施設をもっと多く利用してほしい。そこで同じ目的を持つと言葉がなくても仲良くなれるような気がする。(70～79歳)
- ・地域の人々と交流を持ち、お互いの理解が深まればよいと思う。(30～39歳)
- ・町会内の行事等に子供を含め参加してほしい。(70～79歳)
- ・地域行事への参加、交流などについて。(50～59歳)
- ・もし近所に住む外国人がいたら気軽にあいさつができるようになって、地域の行事やイベントにも参加し、協力してもらえるとうれしい。(50～59歳)
- ・日本のルールや習慣を習得し、地域の行事等にも積極的に参加してほしい。(60～69歳)
- ・一緒に祭りに参加したい。(50～59歳)

- ・マンションに住んでいるが、管理組合などマンション行事に興味をもって参加してほしい。騒音や子供のいたずら問題があるようだが、日本人だから、外国人だからではなく、同じマンションの住人としてあいさつや行事への参加を通じて普段から話し合えることが必要だと思う。(40～49歳)
- ・地域行事に積極的に参加してもらい、楽しく生活してもらいたい。(30～39歳)
- ・日本人との交流がもっとできればいいと思う。これは、外国人ではなく、地域社会がそのような機会を作るべきだと思う。(20～29歳)

⑤日本人に対する先入観を持たない

- ・日本、日本人を好きになってほしい。(60～69歳)
- ・特に期待することはないが、困ったことがあったら身近にいる日本人に気軽に相談してほしい。そこからコミュニケーションが生まれ、信頼関係が築けると思う。(50～59歳)
- ・日本人と外国人、互いに偏見を持たずに交流できたらよい。生活習慣などが異なるのは当たり前で、それを受け入れ私たちの方から近づいていき、日本の生活のルールなどを教えてあげたらよいと思う。(60～69歳)
- ・外国人同士が固まっているのではなく、日本人とたくさん交流してほしい。(70～79歳)
- ・地域にとけこめるような積極性、関心を抱いてほしい。そのための支援を日本側も充実する。(60～69歳)
- ・外国の方は外国の方で固まっているイメージがある。いつか、様々な人種の人達で固まって歩きたい。(30～39歳)
- ・こちらにも受け入れる努力が必要だと思うが、外国人がこの地に「住むんだ」という意識をもって地域の溶け込む努力が必要である。(70～79歳)
- ・彼らは固まってコミュニティを形成し、文化も自国のものを第一に考え、地域に溶け込みたいのかわからない。日本、東京以外でもそうだと思う。こちらのみが気を配るだけでなく、お互いが対等に言合えればよい。(80歳以上)

⑥日本の伝統・文化や風習を理解する

- ・日本文化を理解し尊重してほしい。(30～39歳)
- ・地域に暮らす外国人が、日本の文化や暮らしを発信して日本の文化や生活を広めること。(30～39歳)
- ・地域の歴史や文化に関心を持ち、それを出発点として日本への理解を深めていただければと思う。(70～79歳)
- ・お互いの文化について理解し合うのと同時に、日本に住むうえである程度、日本の文化・生活様式を知ったうえで生活してほしい。互いの文化を大切にできるような関係を築きたい。(20～29歳)
- ・日本に住んでいる以上、日本の文化や風習をもっと理解してほしいと思う。(60～69歳)
- ・外国の方々から見た日本のよい文化や魅力を教えてほしい。またおかしい風習や間違った認識など、気になっていることは指摘してほしい。(50～59歳)
- ・日本の良い文化やサービスの心(おもてなしの心)も理解して溶けこんでいくことを期待する。また、我々も彼らがそう思えるような待遇や平等な気持ちで接することが大切と思う。(50～59歳)

- ・日本語の学校に通って、日本の文化や生活様式などを学んでほしい。コンビニのアルバイトで就労している男女が、来客に挨拶していることがほとんどない。(80歳以上)
- ・日本人が従来から守り育ててきた習慣、ならわしを守ることが大事なのではないかと思う。今回のアンケートを見て、外国人に求めるだけでなく、日本人として改めて考えなければならないことが多いと感じた。教育の大切さだろうか。(70～79歳)
- ・文化の違いかわからないが積極的に歩み寄ることがない。逆にこれ以上踏み込まないでというオーラを感じる。日本に来ている以上、日本文化を勉強し、身につけてほしい。相互理解が必要だと思う。(70～79歳)
- ・文化交流を軸にいろいろと知り合うことができ、今でも交流は続いている。お互いに学ぼうとする気持ちがないと続かない。(60～69歳)
- ・日本文化を理解して地域の人とトラブル等なく生活してほしい。(50～59歳)
- ・その地域に長年住んでいる日本人が気づかない、土地の魅力を発信してほしい。(40～49歳)
- ・男尊女卑の風習が残る国の人をそれは捨てる。互いの文化が違うことを念頭に入れる。自身の経験上、互いの文化の違いを理解、尊重し合いながら話せばうまくいく。この啓発をお願いしたい。(30～39歳)
- ・マナーを守って、日本で暮らすなら日本文化を学んでほしい。(50～59歳)
- ・日本人は外国人の風俗習慣をできるだけ理解する努力をすることが大事である。と同時に外国の方も日本の風俗習慣を理解することを希望する。(80歳以上)
- ・多くの日本文化に触れ、自国に戻られた際には、正しい情報を伝えてほしい。台東区には、世界に誇ることのできるもの作り文化があることを知ってほしい。(50～59歳)
- ・日本の文化、自国の文化、両方のバランスを適宜取りながら生活してほしい。(40～49歳)
- ・日本人の生活習慣や文化、価値観に敬意を払う行動をしてほしい。(50～59歳)

⑦外国の言葉や文化を教えてほしい

- ・子供達が世界の多様性を理解する窓のようなものを期待する。(40～49歳)
- ・海外からの来客への対応や日本人を含めた交流に参加してほしい。両者の文化をよく知る彼らだからこそできるかと思うので。私たち日本人も海外のことがもっと知りたい。(30～39歳)
- ・浅草の商業施設や住宅街、街づくりには地域ごとに指針が異なり過ぎて異文化の影響を上手くいかせておらず、まとまりがなくて分かりづらい。地域に根付き、文化を生かせる、発展させられる商業施設や住宅街、街づくりをするにおいて外国人の客観的な意見をもっと反映すべきだと思う。また異文化の影響を点で生かすのではなく、決まった地域や区画を大切に集合体を基準に開発を進めてほしいと強く思う。(30～39歳)
- ・日本にはない母国の良い慣習を台東区に広めてほしい。(30～39歳)
- ・子供たちへの語学教育支援について。(30～39歳)
- ・島国日本に住む我々、特に子供たちに他の国の文化、習慣、食べ物、親子の関わり方や教育などの違いを、ぜひ教えてほしい。認め合うこと、尊重することも大事だと思う。(60～69歳)
- ・子供に気軽に英会話などの言語を教えてくれる場所があると嬉しい。(40～49歳)

- ・色々な文化を知ることのできる飲食店などが増えると、海外旅行ができないので今の時勢にはうれしい。(40～49歳)
- ・色々な人がこの地球上にいるんだということを子供たちに理解してもらいたいので、もっと交流する機会があったらいいと思う。文化や言葉を教えてほしい。(40～49歳)
- ・外国語を覚えたい。(60～69歳)
- ・小学校や中学校で児童・生徒や保護者を対象とした講演会などを実施し、その国についてや文化・習慣などを知る機会をつくってほしい。(50～59歳)
- ・料理を教えてほしい。子供の遊び相手になってほしい。(40～49歳)
- ・外国との文化交流。(40～49歳)
- ・幼稚園・保育園・小中学校で、外国人のグループの方と一緒に遊んだり会話をしたり、ともに時間を過ごすなら子供たちも外国人に慣れ親しめるのではないか。日本人の子供たちに特にオーバーアクション等のジェスチャーを学ばせたい。子供たちにダイナミックに育ってほしい。(60～69歳)
- ・いろんな文化があることは素晴らしいと思うので、それらを楽しみながら知る機会やイベントなどがあれば参加したい。(30～39歳)
- ・外国人ならではの発想や生活の楽しみ方などが共有できたらいいと思う。(30～39歳)

(3) 日本人意識調査 (問 24)

台東区における多文化共生の推進に対する自由記述に187件の回答があった。問22「地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、台東区が力を入れるべきだと思うこと」の選択肢に合わせて記述内容を整理し、主な内容について掲載する。

①区立施設の多言語対応・表示

- ・寛永寺、上野公園、浅草といった「有名どころ」には英語の表記もあり、また英文のガイドブックやパンフレットも発行されている。ただより身近な寺社、古い建物、古道などをたまに会う外国人から尋ねられても、十分な説明ができない。そうした身近な歴史的資産について、英文のパンフレットを地区ごとに発行してもらえるとありがたい。(70～79歳)
- ・文化施設、商店、レストラン等に入りたいと安心できる表示で、経済向上を手助けいただけるよう期待したい。日本に来て良かったと思っていただきたい。(60～69歳)
- ・まちの英語表記を増やしてほしい。各家庭に観光案内に使える英語冊子や外国語冊子を配布してほしい。(18～19歳)
- ・外国人が一定以上居住しているので、外国人向けに多言語表記や案内は必要だと思う。(30～39歳)
- ・日本ほど多言語表記が多い国はない。今回の案内の封筒にも7言語表記してあり、そこまで対応する必要はないと思う。例えばアメリカ等、英語しか表記がない場合がほとんどである。(40～49歳)

②外国人向けの日本語習得支援

- ・住人の外国人なのか英語で話しかけてくることがあるが、日本に住むのであれば日本語を理解してほしい。逆に英語を話せるようになりたい。(40～49歳)
- ・外国から来た子供のための日本語教育や一般的な学習支援のためのボランティア活動は行われていないのだろうか。(30～39歳)
- ・外国へ迎合しすぎず、違いは受け入れる方向が望ましい。予算は日本語教育へ使ってほしい。(40～49歳)
- ・外国の方は不安だらけだと思う。初心者には住みやすい環境・知識を、中級者には日本人とのふれあいを、素敵な場の提供を今後も頑張っていたきたい。(30～39歳)

③生活情報の発信・多言語対応

- ・ゴミ出しのルールを教える。(70～79歳)
- ・日本で暮らすということは、日本のマナーを守ったうえでの生活なので、外国人を受け入れる限り、基本的な日本語と常識、非常識を守らせるという取り組みはしてほしいと思う。(40～49歳)
- ・言葉や文化的な違いがあっても、常識というものは世界共通なので、日本人と外国人の間に大きな垣根は無いと思う。生活する上のサポート、ガイダンスがしっかりしていれば外国の方も生活しやすくなると思う。(40～49歳)
- ・やりすぎない事、自然で良いと思う。日本の生活の基本や決まり事は教えてほしい。(50～59歳)

- ・外国の方が日本の文化を取り入れ生活が送れるように情報発信したり相談を受ける場所があるとよい。(70～79歳)
- ・日本人自体が個々のつながりが弱くなっている昨今だが、必要な情報はインターネットの普及で得やすくなっているので「困ったときはここへ」と台東区役所のホームページでわかりやすく発信してもらえると、みんな安心につながると思う。(40～49歳)
- ・台東区が取り組んでいる事業についてもっと宣伝・広報してもらいたい。(80歳以上)
- ・それぞれの生活習慣があると思うが、日本で暮らすうえで守ってほしいルール(外での大声での会話など)についてパンフレットで強くアピールしてほしい。(60～69歳)
- ・このアンケートで日本人ができることばかりまとめようとしているが、外国の方が日本に居住するうえでの言葉やルールを理解してほしいし、そのための指導を区がやるべきだと思う。(60～69歳)
- ・住居などの契約内容を正しく正確に伝えてほしい。同じ建物に住むことに抵抗を感じざるをえない、住みたくない。(60～69歳)
- ・一時的に台東区に滞在する観光客にも日本のマナーを伝えられる機会があるとよいと思う。(18～19歳)

④相談体制の充実・通訳配置

- ・多くの外国人が住む地域または職場等に職員の方が出向き直接話をする機会を設けてはどうか。(50～59歳)
- ・日本に住むすべての人が困ったことが起きたときに相談先があり、その相談先を知っていることが誰にとっても安心だと思う。(40～49歳)
- ・外国人とひとくくりにするが、生活しているのは個々人であり、選んだ場所、町内で生活の仕方(町文化)は異なる。その個人がその場所で困ることがないように個々に対応した援助をしてほしい。何か困ったことがあるときはこの人に相談すれば道は開かれるという確かに守ってくれる人、担当者がいることが大切だと思う。(70～79歳)
- ・受け身の行政ではなく、おせっかいなくらいに積極的にコミュニケーションを図ったらどうだろうか。いわゆる「世話を焼く」下町気質が魅力だと思う。(50～59歳)
- ・一般の人が目にする社会生活のルールを積極的にアドバイスする人を養成し、待っているのではなく、出向いていってコミュニケーションをとるようなシステムがあるといいと思う。本人たちは単にルールを知らないということもあると思う。(60～69歳)
- ・子供の通う園に他国の親子がいる。会話ができたりコミュニケーションが取ればいいのだが、全くコミュニケーションがとれないことでこちらも困るし、こちら側も本当に困ることが多い。できたら言葉の通訳など現場への配置を求める。(40～49歳)

⑤防災面の対策

- ・防災アナウンスの外国語放送もしてほしい。(18～19歳)
- ・安全・安心なまちのために、監視カメラの増設とフリーWi-Fiの充実を望む。(40～49歳・50～59歳・60～69歳)

⑥子育て・教育面の支援

- ・区内の小中学生にも積極的な異文化理解・交流の機会をつくって、多文化共生の推進に関わるようにしてあげるといいと思う。(30～39歳)
- ・小学校、中学校で今もあるデンマークへの短期留学。ヨーロッパ以外にも留学できるチャンスをもっと増やしてあげてほしい。若い方にどんどん世界に出て行ってほしいし、外国人との関わりを増やしてあげてほしい。(60～69歳)
- ・区立学校での多文化共生教育の推進について、幼少期から異質な他者を受容する力を少しずつ育んでいくべきだと考える。体験活動の拡充等、検討してほしい。(20～29歳)
- ・近年、中学生からではなく、小学生や幼稚園まで英語教育が広がりつつあるので、例えば今は色々と中止になっているが児童館のイベントに交流の機会を設けたりすると、小さい頃から異文化への理解が進み、親も関わりを持てると思う。(30～39歳)
- ・幼稚園、保育園、こども園については区立、私立を問わず、対応するべきだと思う。支援が必要な方が区立に優先的に入園できるのであればよいが、保護者だけでなく私立の先生方の負担を減らすことにもつながると思う。(30～39歳)
- ・上野広小路から御徒町あたりが今までに何度か排外主義者のデモコースになり、差別的な旗や看板が見られた。政治活動の自由との兼ね合いもあるが、地域の外国人、とくに子供へのケアが必要かもしれないと思った。(30～39歳)
- ・大学で留学生に関する仕事をしているので、その経験を役立てる場があれば協力したいと思う。(50～59歳)
- ・僧、空海が長安に宗教を学びに行ったように、良い人財は良い文化を学びに来る。台東区内の国内文化の質も上げていかないと良い人材は学びに来ない。国内の人材教育も力を入れるべきである。(40～49歳)
- ・子供にも低学年のうちから学年に応じた内容で、国籍や言語、文化や習慣や肌の色の違いなど、外国人や外国にルーツを持つ人への理解を深めるよう促し、差別や無理解が生じないような教育を行ってほしい。特別授業のような形で、定期的に行ってほしい。(40～49歳)

⑦医療・福祉面の支援

- ・日本に長く住むための知識、例えば年金や医療の仕組みを分かりやすく伝える努力をもっとすれば良いと思う。(40～49歳)

⑧就労・事業経営の支援

- ・共生事業とは無関係かと思うが、日本に住んでいる介護・医療・農業・他などの講習生が不当な待遇を受けることがなくなったり、将来の希望を失うような状態には絶対にならないような共生を望む。(80歳以上)
- ・観光地が多い区だからこそ、外国人の就労、雇用を推進し、地域活性、外国人観光客の招致を推し進めてほしい。古い伝統がある地と新しい発展とが共存できる地域を作ってほしい。(40～49歳)

⑨日本人向けの多文化共生に関する意識啓発

- ・多文化共生は積極的に進めるべきだと思う。そのためのルールづくり、体制づくりを常に刷新すべきである。(30～39歳)
- ・とても大切な活動だと思う。日々自分の中でも意識しながら生活していきたいと思う。(30～39歳)
- ・主旨は非常に結構なことだが、その外国の方が日本に永住する方なのか、一時的な方なのかで、共生する日本人も対応が違ってくると思う。その点がはっきりするシステムづくりをしてほしい。(60～69歳)
- ・今まで多文化共生推進事業について、ほとんど知る機会がなかった。もっと一般に普及させ、一般の人も参加できるコミュニケーションの在り方を広く知ってもらえるようにしてもらえれば協力できると思う。(60～69歳)
- ・「多文化共生」「やさしい日本語」など、このアンケートがなければ知らない言葉だった。台東区がどんな働きかけをしているのか少し興味がわいた。(50～59歳)
- ・良くも悪くも外国人慣れしているのが台東区民だと思う。共生は強制するものではないので、効果が期待できないかもしれないが、地道に気長にするのがいいと思う。(60～69歳)
- ・若者は食に興味があると思うので、多国籍のレシピの配布などが喜ばれると思う。(70～79歳)
- ・今回アンケートに答えることで、区で様々な取組をしていることを知ったが、今までそのことを知る機会がなかった。啓発にもっと力を入れた方がよいと感じた。(50～59歳)
- ・国際交流、多文化共生事業への参加の呼びかけ、周知を強化してほしい。(40～49歳)
- ・台東区が多文化共生を推進していることを初めて知った。もっとアピールしてくれれば私でも役に立てることがあると思った。(50～59歳)
- ・このアンケートが届くまで、台東区が多文化共生の推進活動について知らなかった。(意識して生活することがなかった。)今後、注目していきたい。(40～49歳)
- ・台東区が「多文化共生」を推進していること自体知らなかった。若い人こそ意識すべき点だと思った。若い人に向けた「多文化共生」についてもっと SNS などを使って発信してほしいと思った。(20～29歳)
- ・多文化共生という言葉すら知らなかったが、異国の文化を周知する必要があると思う。(50～59歳)
- ・HP、行政施設に行くなど自ら本推進策を知ろうとすれば解決することであるが、受け身ではその実態を認識する機会が少ない。効率的な広報、事業参画、告知にも尽力いただきたい。(50～59歳)
- ・台東区全域にもっとこの多文化共生の推進について広めてもらいもっといろいろな意見を聞いてもらいたい。私自身初めてこの推進を知った。住民がしっかりと納得できる体制や条件などルールを作り、お互いが納得した上で、安心して共生出来るようなまちづくりにしてほしい。(50～59歳)
- ・外国人を受け入れるための日本人向け語学教室を開催してほしい。(50～59歳)
- ・台東区が何故外国人受け入れに積極的なのかを周知するべきだ。(40～49歳)

⑩日本人と外国人の交流の機会の充実

- ・いろいろな方と知り合いになれる。(80歳以上)
- ・お互い気軽に交流できる行事を増やしてほしい。学校で外国の子供と通年でつながれるような仕組みをつくってはどうか。(30～39歳)

- ・近所で中国人やインド人の方を見かけることがあるが、接点がないので交流するところまではいかない。国際フェスティバルなどイベントがあれば、そういった方々と話すきっかけがうまれるように思う。(50～59歳)
- ・浅草なので外国人観光客はよくいて、道も聞かれる。コロナウイルス感染症が落ち着いたらまたたくさん来てほしいが、一緒に生活するとなると別である。日本に良いイメージを持っていない、差別しているような方がいるのはこわい。まだまだ外国人への恐怖心は根強いと思う。何かトラブルが起きた時に対策を強化してもらえると安心できる。(30～39歳)
- ・各国の良い所を伝えるような多文化イベントを沢山開催してほしい。(50～59歳)
- ・イベント、交流に日本人が協力できることがあれば積極的に案内して欲しい。(40～49歳)
- ・台東区では文化施設(浅草文化観光センター)などあるので、そこで日本(台東区)の歴史・文化交流を開いたらいいと思う。(50～59歳)
- ・よいことだと思う。特に祭礼の折り、外国の方に祭りの仕組みなどを説明したこともあるし、聞かれたこともある。観光客と乗り物で言葉を交わすことがあるが、その時の対話は印象が強くある。(80歳以上)
- ・今はコロナウイルス感染症で外国人も日本にいないが、収束したら外国人観光客があふれる大好きな台東区に戻ってくれることを期待している。(18～19歳)
- ・以前は区民便りなどで外国人に日本語を教えるセミナーなどの募集を見かけたが、最近はやっているのか。一度応募したが、人数が少なく抽選だった。いろいろな取組をしているようだが、全く知らなかった。(50～59歳)
- ・コロナ禍だが、いつかファミリー向けのイベントなどで交流できるとよい。(40～49歳)
- ・外国人の方々が日本の子供たちを見てどのように感じたか、またどのようにしたらよいか等で意見や交わって実践支援してもらえようをお願いしたい。(60～69歳)
- ・やさしい日本語についての記述があるのと対照的に、多文化共生という言葉自体が日本人にとっても、とっつきにくい感じがする。日本といえば東京、東京といえば浅草だと思っているので、外国人との新しい積極的な関わりを期待している。(40～49歳)
- ・言葉や習慣の違いはあると思うが、日本人・外国人関係なく、一緒に何かをやる場所があるといい。東京には青森県人も鹿児島県人もいる。外国人が増えたからといってやることは大きく変えなくてもいいのではないか。(40～49歳)
- ・ここは日本であり、度を過ぎない多文化共生も必要かと思う。結局外国人と日本人とは異なるという事をどこかで持ちつつ、外国人の素晴らしい所は理解し習うべき所は日本人も習う必要がある。(50～59歳)
- ・外国人とコミュニケーションがとれる学生向けの交流の機会があるといいと思う。(18～19歳)
- ・生活、文化を中心に交流できるよう組織的に進めていただきたい。高齢者の多いエリアでは、こうした交流が新たな社会の接点になると思う。(50～59歳)
- ・もっと外国人の方と、知り合える環境を作り、それをより知らしめてほしい。外国人と友達になりたくてもチャンスがない。(50～59歳)
- ・「多文化共生」という言葉は字を見れば、意味は分かるが、標語として初めて聞いた。交流する機会があれば参加したいが、その情報が分からない。また、日本語を教えるボランティアに興味がある。そのような講座があるなら受講したい。(60～69歳)

- ・多文化共生はバックグラウンドや信条の異なる人達と一緒にいるという事なので、交流がなくても構わない。相互理解がなくても仕方ない。交流を希望している人がいれば、場を設けるのも一つの方法だと思う。(50～59歳)
- ・地域に暮らす外国人、もしくは外国にルーツのある方との交流を持てる機会を増やしてほしい。(20～29歳)
- ・きっとイベント等をやっているとは思いますが、その事を何処に掲示しているのかが分からない。そうすると、やってみたくても行けなかったりする。若い世代は特に、用事がなければ台東区のホームページも見ないし、近所の掲示板も見ないと思うので、見てもらえるような何かをした方が良いと思う。(40～49歳)
- ・多文化に興味があるが、どこに行ったら外国人と交流出来るのかわからない。私が知らないだけかもしれないが、外国人と交流出来るイベント等があれば良いと思う。近所に外国人が住んでいないので、気軽に外国人と交流する機会がなく残念に思っている。(40～49歳)
- ・外国の方と信頼関係を作っていけるような場に参加しやすくなってほしい。(60～69歳)
- ・日本人と外国人の意識の違いをすり合わせる。たとえば日本人からすると、ずうずうしいと感じてしまう要求をしてくる人がいる。日本人には物事ははっきり言わない文化があるが、それでは外国人は困ってしまうことを知らせる。(30～39歳)

⑪外国人の地域社会への参加支援

- ・地域社会でお互いに協力、調和し、助け合って活性化していきたい。(60～69歳)
- ・どんどん行事や町会と交流するべきだ。(40～49歳)
- ・多国民が利用できる朝市などはどうか。(30～39歳)
- ・集合住宅は日本人でさえも地域との交流から孤立している。子供がいるならまだしも単身の外国人はなおさらだと思う。回覧板は無いし、祭りへも参加はできるが運営側は町会メンバーで地盤が硬い。これからの中心となる30～40代の「長く住んでいる中堅層」にアプローチすることで、国籍関係なく「移住者」と「長く住んでいる層」との格差を無くしてほしい。(30～39歳)
- ・若い世代中心に積極的に地域交流を進めてほしい。(40～49歳)
- ・外国人の文化など積極的なお祭りやイベントの開催を期待する。(30～39歳)
- ・現在は外国人に対する偏見もなくなり、ある意味、外国語について興味があり、話したいと感じている人も多いように思う。私も含めてだが、英会話スクールに通ってみたものの、話せるようにならなかったなどの悩みを抱え、あきらめてしまった人も多いのではないかと思う。地域にコミュニケーションが取れる場所がもっとあればうれしい。堅苦しい会話で終わってしまうこともなくリラックスしてお互いを理解できるようになり、多文化共生が進んでいくのではないかと感じている。(40～49歳)

2 アンケート調査票

(1) 外国人意識調査 アンケート調査票

台東区 多文化共生に関するアンケート調査(外国人用) 調査ご協力のお願い

日頃より、区政運営にご協力いただきましてありがとうございます。

現在、台東区には多くの在住外国人が生活しています。その割合は年々増加しており、今後もさらなる増加が予想されています。このような現状から、地域における多文化共生の意識醸成をさらに推進し、日本人と外国人がともに地域の担い手として活躍する地域づくりが求められており、このたび、区では多文化共生推進プランを策定することとなりました。

本調査は日本人及び在住外国人の皆様の声をお聴きして、今後の多文化共生推進プラン策定の基礎資料とし、さらには台東区が多文化共生推進に役立てるために実施するものです。つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解のうえご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、本調査の送付は、令和2年4月1日時点の住民記録の情報を基に、18歳以上の方へ無作為に行なっております。変更や行き違い等がございましたらご容赦ください。また、お答えいただいた内容は、すべて統計的な数値として処理しますので、個人の特定やプライバシーに関わる内容の公表をすることは一切ございません。

また、「台東区が多文化共生推進に関する取り組みのご紹介」を同封いたしましたので、あわせてご覧下さいますようお願いいたします。

令和2年8月 台東区

【ご記入にあたってのお願い】

1. 封入されている2種類の調査票は同じ内容です。どちらか1つにご回答ください。
2. この調査票は、宛名のご本人がご記入ください。
3. ご回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んでください。

記入例)

問. あなたは、多文化共生に関心がありますか。

①. ある 2. 少しある 3. ない

4. ご回答方法は2通りございます。(いずれかの方法でご回答ください)
①本調査票・・・回答をご記入の上、同封の返信用封筒でご返送ください。(切手は不要です)
②WEB ページ・・・下記 URL または二次元コードより、回答ページへアクセスしてご回答ください。

台東区 多文化共生に関するアンケート調査回答ページ

<https://ntnlights.post-survey.com/mU56RGbc/>



5. ご回答は、**9月10日(木)**までをお願いします。

<お問い合わせ先>

台東区 区民部 区民課 協働・多文化共生係
TEL:03-5246-1126

令和2年度 台東区多文化共生意識調査 (外国人用)

1. あなたご自身について

問1 あなたの性別をお選びください。(ひとつだけ○)

- | | | |
|------|------|-------------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 どちらともいえない |
|------|------|-------------|

問2 あなたの年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 18～19歳 | 3 30～39歳 | 5 50～59歳 | 7 70～79歳 |
| 2 20～29歳 | 4 40～49歳 | 6 60～69歳 | 8 80歳以上 |

問3 あなたの国籍・出身地域をお選びください。(ひとつだけ○)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1 中国 | 6 インド | 11 ミャンマー |
| 2 香港 | 7 ネパール | 12 その他 |
| 3 韓国・朝鮮 | 8 台湾 | () |
| 4 ベトナム | 9 タイ | 13 無国籍 |
| 5 フィリピン | 10 アメリカ | |

問4 あなたの日本での在留資格をお選びください。(ひとつだけ○)

- | | | |
|-----------|-----------------|--------------|
| 1 外交 | 11 研究 | 21 文化活動 |
| 2 公用 | 12 教育 | 22 短期滞在 |
| 3 教授 | 13 技術・人文知識・国際業務 | 23 留学 |
| 4 芸術 | 14 企業内転勤 | 24 研修 |
| 5 宗教 | 15 介護 | 25 家族滞在 |
| 6 報道 | 16 興行 | 26 永住者・特別永住者 |
| 7 高度専門職 | 17 技能 | 27 日本人の配偶者等 |
| 8 経営・管理 | 18 技能実習 | 28 永住者の配偶者等 |
| 9 法律・会計業務 | 19 特定活動 | 29 定住者 |
| 10 医療 | 20 特定技能 | |

問5 あなたのお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 持ち家(一戸建て) |
| 2 | 持ち家(集合住宅) |
| 3 | 借家(一戸建て) |
| 4 | 借家(集合住宅) |
| 5 | 公社・都市再生機構(旧公団)・公営住宅 |
| 6 | 社宅・官舎 |
| 7 | 間借り・住み込み・寮 |
| 8 | その他() |

問6 あなたのお仕事は、大きく分けて以下の中のどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

- | | | | |
|---|-------------|---|---------|
| 1 | 自営業者・経営者 | 6 | 家事 |
| 2 | 会社勤務(役員) | 7 | 学生 |
| 3 | 会社勤務(一般正社員) | 8 | 無職 |
| 4 | 契約・嘱託・派遣社員 | 9 | その他 () |
| 5 | パート・アルバイト | | |

問7 あなたは結婚していますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---|-----------------------|
| 1 | 未婚 |
| 2 | 結婚している(配偶者は同国人) |
| 3 | 結婚している(配偶者は日本人) |
| 4 | 結婚している(配偶者は日本人・同国人以外) |
| 5 | 離婚・死別 |

問8 あなたが現在一緒に住んでいる人はどなたですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | | | |
|---|------------------|---|--------|
| 1 | 配偶者・パートナー | 5 | 親戚 |
| 2 | 子供 ⇒ 問8-2 へ | 6 | 友人・知人 |
| 3 | 兄弟姉妹 | 7 | その他() |
| 4 | 自分または配偶者・パートナーの親 | 8 | いない |

問 8-2 【問 8 で「2 子供」と回答した方にお聞きします。】あなたの子供は何歳ですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|---|------------------------|
| 1 | 小学校に通う年齢未満(6歳未満)の子供がいる |
| 2 | 小学校に通う年齢(6~12歳)の子供がいる |
| 3 | 中学校に通う年齢(13~15歳)の子供がいる |
| 4 | 高校に通う年齢(16~18歳)の子供がいる |
| 5 | 19歳以上の子供がいる |

問9 あなたは、日本にどのくらい住んでいますか。(ひとつだけ○)

- | | | | | | |
|---|----------|---|-----------|---|-----------|
| 1 | 6か月未満 | 4 | 3年~5年未満 | 7 | 20年~50年未満 |
| 2 | 6か月~1年未満 | 5 | 5年~10年未満 | 8 | 50年以上 |
| 3 | 1年~3年未満 | 6 | 10年~20年未満 | | |

問10 あなたは、台東区にどのくらい住んでいますか。(ひとつだけ○)

- | | | | | | |
|---|----------|---|-----------|---|-----------|
| 1 | 6か月未満 | 4 | 3年~5年未満 | 7 | 20年~50年未満 |
| 2 | 6か月~1年未満 | 5 | 5年~10年未満 | 8 | 50年以上 |
| 3 | 1年~3年未満 | 6 | 10年~20年未満 | | |

問11 あなたはどの地域に住んでいますか。(ひとつだけ○)

- | | | | | | |
|---|-------|---|-------|----|-------|
| 1 | 竹町地区 | 5 | 金杉地区 | 9 | 雷門地区 |
| 2 | 東上野地区 | 6 | 谷中地区 | 10 | 馬道地区 |
| 3 | 上野地区 | 7 | 浅草橋地区 | 11 | 清川地区 |
| 4 | 入谷地区 | 8 | 浅草寿地区 | 12 | わからない |

2. ことばについて

問12 日本語をどうやって学んでいますか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1 民間の日本語教室で勉強している | 5 知り合いに教えてもらっている |
| 2 台東区の日本語教室で勉強している | 6 テレビ・ラジオ・本などで勉強している |
| 3 ボランティアの日本語サークルで勉強している | 7 その他() |
| 4 家庭教師に教えてもらっている | 8 勉強していない |

問13 わかる言語はどれですか。(当てはまるもの全てに○)

また、その中で最も得意な言語はどれですか。項目の番号をご記入ください。

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1 日本語 | 6 タガログ語 | 11 スペイン語 |
| 2 中国語 | 7 タイ語 | 12 ポルトガル語 |
| 3 韓国語・朝鮮語 | 8 ネパール語 | 13 その他() |
| 4 英語 | 9 ドイツ語 | |
| 5 ベトナム語 | 10 フランス語 | |

最も得意な言語

問14 あなたはどのくらい日本語ができますか。(それぞれひとつに○)

	複雑で難しい日本語でもわかる	仕事で使う日本語はわかる	日常会話ができる	挨拶や道案内などコミュニケーションをとる程度できる	できない・ほとんどできない
A 聞く	1	2	3	4	5
B 話す	1	2	3	4	5
C 読む	1	2	3	4	5
D 書く	1	2	3	4	5

問15 あなたは今後、日本語を学びたいと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 積極的に学びたい | 3 あまり学びたくない |
| 2 機会があれば学びたい | 4 学びたくない |

問16 台東区では「外国人のための日本語教室」を開催しています。日本語教室の開催方法などで、より利用しやすくなるためには何が重要だと思えますか。(当てはまるもの全てに○)

- | |
|--|
| 1 初級から上級までの幅広いレベルのクラスがある |
| 2 会話を中心としたクラスである |
| 3 少人数・個別指導に対応したクラスである |
| 4 義務教育の子供向けのクラスがある |
| 5 無料または低額で利用できる |
| 6 台東区内の様々な場所で開催している |
| 7 語学を学びながら、日本の生活習慣や台東区での暮らしに関する情報を知ることができる |
| 8 平日に開催している |
| 9 土日に開催している |
| 10 日中に開催している |
| 11 夜間に開催している |
| 12 日本語教室の案内が多言語でわかりやすく広報されている |
| 13 子供連れでの参加ができる |
| 14 その他() |
| 15 特にない |

3. 台東区の実施について

問17 台東区で実施している外国人を対象としたサービスや取組を知っていますか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 生活する上で必要な情報を多言語でまとめた「生活便利帳」の発行
- 2 生活に役立つ情報や行政情報を英語、中国語、韓国語、やさしい日本語で年4回発行する「多言語情報紙」の発行
- 3 多言語対応デジタルブック(カタログポケット)による情報発信
- 4 外国人相談窓口の運営
- 5 多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応
- 6 外国人のための日本語教室の実施
- 7 日本人と外国人の交流事業
- 8 「やさしい日本語」の普及・啓発を目的とした講座の実施や冊子の発行
- 9 外国から区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校へ新たに編入した幼児・児童・生徒を対象とした日本語指導講師の派遣
- 10 区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校を対象に、日本語の理解が不十分な保護者との面談や教育相談などを支援する通訳の派遣
- 11 特になし

問18 台東区の実施策に対して満足していますか。また、その実施策はあなたにとってどのくらい必要ですか。(それぞれひとつに○)

満足度	満足	どちらか といえば 満足	どちらか といえば 不満	不満	わからない
A 区立施設の多言語対応・表示	1	2	3	4	5
B 日本語習得支援	1	2	3	4	5
C 生活情報の発信・多言語対応	1	2	3	4	5
D 相談体制の充実・通訳配置(多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応を含む)	1	2	3	4	5
E 防災面の対策	1	2	3	4	5
F 子育て・教育面の支援	1	2	3	4	5
G 医療・福祉面の支援	1	2	3	4	5
H 就労・事業経営の支援	1	2	3	4	5
I 日本人向けの多文化共生に関する意識啓発	1	2	3	4	5
J 日本人と外国人の交流の機会の充実	1	2	3	4	5
K 外国人の地域社会への参加支援	1	2	3	4	5

必要度	必要	どちらか といえば 必要	どちらか といえば 必要では ない	必要では ない	わからな い
A 区立施設の多言語対応・表示	1	2	3	4	5
B 日本語習得支援	1	2	3	4	5
C 生活情報の発信・多言語対応	1	2	3	4	5
D 相談体制の充実・通訳配置(多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応を含む)	1	2	3	4	5
E 防災面の対策	1	2	3	4	5
F 子育て・教育面の支援	1	2	3	4	5
G 医療・福祉面の支援	1	2	3	4	5
H 就労・事業経営の支援	1	2	3	4	5
I 日本人向けの多文化共生に関する意識啓発	1	2	3	4	5
J 日本人と外国人の交流の機会の充実	1	2	3	4	5
K 外国人の地域社会への参加支援	1	2	3	4	5

4. 日頃の暮らしについて

問 19 台東区の魅力は何だと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 交通の便がいい | 9 多様な国の料理店がある |
| 2 住環境がいい | 10 寺社が多い |
| 3 地域の交流がある | 11 文化施設が多い |
| 4 医療・福祉環境がいい | 12 ものづくりが盛んである |
| 5 子育て支援制度・教育環境が整っている | 13 魅力的な商業エリアや店がある |
| 6 防災上安心である | 14 その他() |
| 7 多様な国籍の人が住んでいる | 15 特にない |
| 8 観光地が多い | |

問 20 台東区は暮らしやすいと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 とても暮らしやすい | 4 暮らしにくい |
| 2 暮らしやすい | 5 どちらともいえない |
| 3 あまり暮らしやすくない | |

問 21 台東区にどのくらいの期間住みたいと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------------|-------------|
| 1 ずっと住み続けたい | 4 すぐに引っ越したい |
| 2 当分の間、住み続けたい | 5 わからない |
| 3 いずれ引っ越したい | |

問22 あなたは、日本での生活で、困っていることや心配なことはありますか。(当てはまるもの全てに○)

【日常生活】

- 1 在留資格やビザに関すること
- 2 日本語の読み・書きに不安がある
- 3 日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある
- 4 税金や年金の仕組みなどがわかりにくい
- 5 日常生活のルールがよくわからない
- 6 食事や食生活の違いがある
- 7 自国のものや宗教に対応した食料雑貨が売っている場所がわからない
- 8 生活上の相談をどこにすればいいかわからない

【住まい】

- 9 外国人であることを理由に入居を断られる
- 10 保証人がなかなか見つからない
- 11 文化の違いで近隣住民とトラブルになることがある

【地域活動】

- 12 地域の活動団体やその内容、参加方法に関する情報が少ない
- 13 地域活動に参加したいが、参加する時間や体力がない
- 14 地域住民と知り合う機会、交流する場がない

【病院・医療】

- 15 どの病院へ行けばいいかわからない
- 16 病院での手続きがわかりにくい
- 17 症状や治療に関する事など病院でのコミュニケーションがうまく取れない
- 18 医療費が高い

【就労】

- 19 仕事を探す方法がわからない
- 20 希望する仕事につけない
- 21 正社員など安定した立場で働けない
- 22 外国人ということで賃金が安い
- 23 雇用条件が悪い
- 24 仕事上に必要な日本語でのコミュニケーションがうまく取れない

【災害】

- 25 災害時の避難方法がわからない
- 26 言葉が通じないので自分の要求を伝えられない
- 27 災害時に必要な情報を得られるか不安
- 28 日本人との協力関係に不安
- 29 地震などの災害を体験したことがないので恐怖心がある

30 その他()

31 特にない

問23 地震などの災害の時に備えていることはありますか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 食料や飲料水、日用品などを準備している
- 2 家具・家電などを固定し、転倒・落下・移動を防止している
- 3 防災地図やハザードマップを持っている
- 4 家族の安否確認の方法などを決めている
- 5 停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している
- 6 断水に備えて生活用に風呂の水をためおきしている
- 7 自宅建物や家財を対象とした地震保険に加入している
- 8 その他()
- 9 何を備えればいいのかわからない
- 10 特にない

問24 災害に関する活動へ参加したいと思いますか。(それぞれひとつに○)

	おおいに 参加した い	機会があ れば参加 したい	参加した くない
A 防災訓練など	1	2	3
B 災害発生時、避難所での通訳者としての活動	1	2	3
C 外国人同士の協力体制づくり	1	2	3

問 25 新型コロナウイルス感染拡大による影響はありますか。(当てはまるもの全てに○)

1	仕事を失った	
2	収入が減った	
3	日本への再入国が認められるかわからないので、帰国できない	
4	地域の感染拡大に関する情報がわからない	
5	国や行政の外国人向けの支援を利用したいが申請方法がわからない	
6	相談先がわからない	
7	病院から受診拒否された	
8	外国人に対する偏見を持っている人の言動でいやな思いをした (具体的に: _____)	
9	その他(_____)	
10	特にない	

問26 生活で困ったときの相談先はどこですか。(当てはまるもの全てに○)

1	職場の同僚など仕事関係の人	9	保育園・幼稚園、学校の先生
2	仕事以外の知人、友人(同じ国籍の人)	10	ボランティア団体(NPO、NGOを含む)
3	仕事以外の知人、友人(日本人)	11	町会
4	仕事以外の知人、友人(日本人以外の外国人)	12	区役所や東京都の相談窓口
5	家族、親戚	13	民生委員・児童委員
6	近くに住んでいる人	14	その他()
7	民族団体・同国人の組織	15	誰にも相談しない
8	教会・寺院など宗教施設	16	相談する相手がない

問27 生活していくうえでより必要な情報はなんですか。(当てはまるもの全てに○)

1	ごみ・資源の分け方、出し方などの生活情報・ルール
2	地震や台風などの災害や防災についての情報
3	福祉(事業・サービス)に関する情報
4	病院や医療、感染症に関する情報
5	税金・年金に関する情報
6	子育て・教育に関する情報
7	就労・事業経営に関する情報
8	住まいに関する情報
9	地域住民と交流できるお祭り等のイベント情報
10	区立施設利用に関する案内
11	その他()
12	特にない

※設問 28～29はお子さんがいる方のみご回答ください。お子さんがいない方は、設問30へお進みください。

問28 日本での妊娠や出産、育児のことで困ったことはありますか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|---|-------------------------------------|
| 1 | 妊娠や出産、育児の支援制度及び各種健診のことがわからない |
| 2 | 妊娠や出産、育児でわからないことがあっても相談する人、場所がわからない |
| 3 | 子供を預けるところがみつからない |
| 4 | 子供が自国の言語、文化にふれる機会が少ない |
| 5 | 妊娠や出産、育児にかかる費用が高い |
| 6 | その他() |
| 7 | 特にない |

問29 子供または回答者が幼稚園・保育園、学校で困ったことはありますか。(それぞれ当てはまるもの全てに○)

【お子さんが幼稚園・保育園等に通っている方、または通われていた方】

- 1 日本の幼稚園・保育園等への入園の仕組みがわかりづらかった
- 2 子供が幼稚園・保育園等に入りづらかった
- 3 幼稚園・保育園にかかる費用が高い
- 4 幼稚園・保育園からの連絡内容がわからない
- 5 先生とのコミュニケーションができない
- 6 他の保護者とコミュニケーションができない
- 7 母国の文化・生活習慣を理解してもらえない
- 8 子供が幼稚園・保育園で友達ができない
- 9 幼稚園・保育園のことで相談できる人がいない
- 10 その他()
- 11 特にない

【お子さんが学校に通っている方、または通われていた方】

- 1 日本の学校への入学手続きの仕方がわかりづらかった
- 2 教育にかかる費用が高い
- 3 学校からの連絡内容がわからない
- 4 先生とのコミュニケーションができない
- 5 他の保護者とコミュニケーションができない
- 6 母国の文化・生活習慣を理解してもらえない
- 7 子供が学校で友達ができない
- 8 学校のことで相談できる人がいない
- 9 日本語での授業が理解できない
- 10 卒業後の進路をどうしていいのかわからない
- 11 その他()
- 12 特にない

問30 現在、特に困っていることがあればお書きください。

5. 地域で暮らす日本人とのかかわりについて

問31 台東区では地域の中で外国人と日本人が互いにコミュニケーションがとれていると思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------------|------------------|
| 1 とても思う | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 全く思わない |

問32 地域で暮らす日本人と交流する機会がありますか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|----------|-----------|---------|
| 1 たくさんある | } 問32-2 へ | 3 あまりない |
| 2 少しある | | 4 全くない |
| | | 5 わからない |

問32-2 【問32で「1 たくさんある」「2 少しある」と回答した方にお聞きします。】あなたが地域内で日本人と関わるのはどのような場面ですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|---|--------------------------|
| 1 | 一緒に仕事をしている |
| 2 | 日本人の友人がおり、付き合いがある |
| 3 | 子供の友達やその親に日本人がおり、付き合いがある |
| 4 | 地域活動で一緒に活動している |
| 5 | 隣近所の付き合いがある |
| 6 | 小売店等でサービスを受ける |
| 7 | 医療や介護現場でサービスを受ける |
| 8 | 日本人に対してサービスを提供する |
| 9 | その他() |

問 33 住民相互の理解を深めるために、日本人に求めることは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 外国の文化、生活習慣を理解する |
| 2 | 日頃から、外国人と言葉を交わす |
| 3 | 日本語、日本の習慣を外国人に紹介する |
| 4 | 外国語を習得するように努める |
| 5 | 外国人との交流会など、国際交流の行事に参加する |
| 6 | その他() |
| 7 | 特にない |

6. 地域での交流について

問 34 地域の活動に参加していますか。(それぞれひとつに○)

	よく参加している	時々参加している	あまり参加していない	参加していない
A 町会等の地域の行事(お祭り等)	1	2	3	4
B 地域のボランティア活動	1	2	3	4
C 趣味、文化、スポーツなどの活動	1	2	3	4
D 国際交流活動	1	2	3	4
E 健康づくりなどの活動	1	2	3	4

問35 日本人と外国人が助け合いながら生活していくために、皆さんの能力や経験を活かして地域で活躍してほしいと考えています。あなたは、地域の中でどのような活動をしてみたいですか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 母国語を日本人に教えたい
- 2 翻訳や通訳で地域に役立ちたい
- 3 国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい
- 4 町会の活動をしたい
- 5 PTA や保護者会の活動をしたい
- 6 地域の防災活動に関する活動に取り組みたい
- 7 台東区の魅力を対外的に発信する活動に取り組みたい
- 8 地域の防犯活動に関する活動に取り組みたい
- 9 子育て支援に関する活動に取り組みたい
- 10 高齢者との交流等、地域福祉に関する活動に取り組みたい
- 11 地域の産業振興に関する活動に取り組みたい
- 12 外国人を支援する活動に取り組みたい
- 13 その他()
- 14 とくに活動したいと思わない

— ご協力、どうもありがとうございました。 —

ご記入いただきました調査票は、恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに

9月10日(木曜日)まで に郵便ポストに入れてください。

台東区 多文化共生に関するアンケート調査(日本人用)

調査ご協力をお願い

日頃より、区政運営にご協力いただきましてありがとうございます。

現在、台東区には多くの在住外国人が生活しています。その割合は年々増加しており、今後もさらなる増加が予想されています。このような現状から、多様化・複雑化する在住外国人のニーズに対応するとともに、地域における多文化共生の意識醸成をさらに推進し、日本人と外国人がともに地域の担い手として活躍する地域づくりが求められており、このたび、区では多文化共生推進プランを策定することとなりました。

本調査は日本人及び在住外国人の皆様の声をお聴きして、今後の多文化共生推進プラン策定の基礎資料とし、さらには台東区が多文化共生推進に役立てるために実施するものです。つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解のうえご協力くださいますようお願い申し上げます。なお、本調査の送付は、令和2年4月1日時点の住民記録の情報を基に、18歳以上の方へ無作為に行なっております。変更や行き違い等がございましたらご容赦ください。また、お答えいただいた内容は、すべて統計的な数値として処理しますので、個人の特定やプライバシーに関わる内容の公表をすることは一切ございません。

また、「台東区が多文化共生推進に関する取り組みのご紹介」を同封いたしましたので、あわせてご覧下さいますようお願いいたします。

令和2年8月 台東区

【ご記入にあたってのお願い】

1. この調査票は、宛名のご本人がご記入ください。
2. ご回答は、あてはまる項目の番号を○で囲んでください。

記入例)

問. あなたは、多文化共生に関心がありますか。

- ①. ある 2. 少しある 3. ない

3. ご回答方法は2通りございます。(いずれかの方法でご回答ください)

- ①本調査票・・・回答をご記入の上、同封の返信用封筒でご返送ください。(切手は不要です)
- ②WEB ページ・・・下記 URL または二次元コードより、回答ページへアクセスしてご回答ください。

台東区 多文化共生に関するアンケート調査回答ページ

<https://ntnlights.post-survey.com/t3UqLZP6/>



4. ご回答は、**9月10日(木)**までにお願ひします。

<お問い合わせ先>

台東区 区民部 区民課 協働・多文化共生係
電話:03-5246-1126

令和2年度 台東区多文化共生意識調査

(日本人用)

1. あなたご自身について

問1 あなたの性別をお選びください。(ひとつだけ○)

- | | | |
|------|------|-------------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 どちらともいえない |
|------|------|-------------|

問2 あなたの年齢をお答えください。(ひとつだけ○)

- | | | | |
|----------|----------|----------|----------|
| 1 18～19歳 | 3 30～39歳 | 5 50～59歳 | 7 70～79歳 |
| 2 20～29歳 | 4 40～49歳 | 6 60～69歳 | 8 80歳以上 |

問3 あなたのお仕事は、大きく分けて以下のどの中にあたりますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|---------------|-------|
| 1 自営業者・経営者 | 6 家事 |
| 2 会社勤務(役員) | 7 学生 |
| 3 会社勤務(一般正社員) | 8 無職 |
| 4 契約・嘱託・派遣社員 | 9 その他 |
| 5 パート・アルバイト | () |

問4 あなたのお住まいは、次のうちどれにあたりますか。(ひとつだけ○)

- | |
|-----------------------|
| 1 持ち家(一戸建て) |
| 2 持ち家(集合住宅) |
| 3 借家(一戸建て) |
| 4 借家(集合住宅) |
| 5 公社・都市再生機構(旧公団)・公営住宅 |
| 6 社宅・官舎 |
| 7 間借り・住み込み・寮 |
| 8 その他() |

問5 あなたは、台東区にどのくらい住んでいますか。(ひとつだけ○)

1	6か月未満	4	3年～5年未満	7	20年～50年未満
2	6か月～1年未満	5	5年～10年未満	8	50年以上
3	1年～3年未満	6	10年～20年未満		

問6 あなたはどの地域に住んでいますか。(最終ページの地区一覧をご確認の上、該当する地区名にひとつだけ○)

1	竹町地区	5	金杉地区	9	雷門地区
2	東上野地区	6	谷中地区	10	馬道地区
3	上野地区	7	浅草橋地区	11	清川地区
4	入谷地区	8	浅草寿地区		

問7 台東区の魅力は何だと思えますか。(当てはまるもの全てに○)

1	交通の便がいい	9	多様な国の料理店がある
2	住環境がいい	10	寺社が多い
3	地域の交流がある	11	文化施設が多い
4	医療・福祉環境がいい	12	ものづくりが盛んである
5	子育て支援制度・教育環境が整っている	13	魅力的な商業エリアや店がある
6	防災上安心である	14	その他()
7	多様な国籍の人が住んでいる	15	特にない
8	観光地が多い		

問8 あなたが現在一緒に住んでいる人はどなたですか。(当てはまるもの全てに○)

1	配偶者・パートナー	5	親戚
2	子供 ⇒ 問8-2 へ	6	友人・知人
3	兄弟姉妹	7	その他()
4	自分または配偶者・パートナーの親	8	いない

問 8-2 【問 8 で「2 子供」と回答した方にお聞きします。】あなたの子供は何歳ですか。(当てはまるもの全てに○)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 | 小学校に通う年齢未満(6 歳未満)の子供がいる |
| 2 | 小学校に通う年齢(6~12 歳)の子供がいる |
| 3 | 中学校に通う年齢(13~15 歳)の子供がいる |
| 4 | 高校に通う年齢(16~18 歳)の子供がいる |
| 5 | 19 歳以上の子供がいる |

問 9 あなたの家族や親戚には外国人や外国にルーツを持つ人はいますか。(ひとつだけ○)

- | | | | |
|---|----|---|-----|
| 1 | いる | 2 | いない |
|---|----|---|-----|

2. 地域で暮らす外国人とのかかわりについて

問 10 身近なところに外国人は多いと感じますか。(ひとつだけ○)

- | | | | |
|---|------------|---|-------------|
| 1 | 多い | 4 | どちらかといえば少ない |
| 2 | どちらかといえば多い | 5 | 少ない |
| 3 | どちらともいえない | 6 | わからない |

問 11 台東区では地域の中で日本人と外国人が互いにコミュニケーションがとれていると思いますか。(ひとつだけ○)

- | | | | |
|---|--------------|---|----------------|
| 1 | とても思う | 3 | どちらかといえばそう思わない |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 4 | 全く思わない |

問 12 地域に暮らす外国人と交流する機会がありますか。(ひとつだけ○)

- | | | | | |
|---|--------|-----------|---|-------|
| 1 | たくさんある | } 問12-2 へ | 4 | 全くない |
| 2 | 少しある | | 5 | わからない |
| 3 | あまりない | | | |

問 12-2 【問 12 で「1 たくさんある」「2 少しある」と回答した方にお聞きします。】あなたが地域内で外国人と関わるのはどのような場面ですか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 一緒に仕事をしている
- 2 外国人の友人がおり、付き合いがある
- 3 子供の友達やその親に外国人がおり、付き合いがある
- 4 地域活動で一緒に活動している
- 5 隣近所の付き合いがある
- 6 小売店等でサービスを受ける
- 7 医療や介護現場でサービスを受ける
- 8 外国人に対してサービスを提供する
- 9 その他()

問 13 地域に暮らす外国人が増えることにより良くなる事は何だと思えますか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 外国の言葉・文化等を知る機会が増える
- 2 外国のことについて関心を持つようになる
- 3 地域内の多様性が広がる
- 4 地域で他の国籍の方と交流できる機会が増える
- 5 人口が増えて、活気が出る
- 6 お祭り等の地域活動の活性化が期待できる
- 7 地域活動の発展につながる
- 8 その他()
- 9 特にない

問 14 地域に暮らす外国人が増えることで心配や不安に感じることは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 外国人が日本で生活するルールや習慣を知らずにトラブルが起きてしまうこと
- 2 言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと
- 3 外国人同士が1か所に固まり、集住すること
- 4 外国人向けサービスや教育など社会的負担が増えること
- 5 具体的にはないが、漠然とした不安がある
- 6 その他()
- 7 不安に感じることはほとんどない

問 15 今までに、地域に暮らす外国人との関係で困った経験は何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 ごみ・資源の分け方・出し方などのルールに関する事
- 2 家・部屋からの物音や騒音など
- 3 集合住宅などの共用スペースや公共の場の使い方に関する事
- 4 言葉の行き違い
- 5 子供の行動やほかの子供との関係
- 6 駐車・駐輪に関する事
- 7 ペットに関する事
- 8 食べ物のにおいなど
- 9 店舗や宿泊施設の営業に関する事
- 10 その他()
- 11 特になし

問 16 地域に暮らす外国人が困っていたり、不安を感じていたりすることは何だと思いますか(あるいは何ですか)。(当てはまるもの全てに○)

- 1 在留資格やビザに関すること
- 2 日本語の読み・書きに不安がある
- 3 日本人や他の国籍の方とのコミュニケーションに不安がある
- 4 税金や年金の仕組みなどがわかりにくい
- 5 日常生活のルールがよくわからない
- 6 食事や食生活の違いがある
- 7 自国のものや宗教に対応した食料雑貨が売っている場所がわからない
- 8 生活上の相談をどこにすればいいかわからないこと
- 9 住まいのこと
- 10 地域活動のこと
- 11 病院や医療のこと
- 12 就労・事業経営の支援のこと
- 13 災害時のこと
- 14 特にない

問 17 あなたが地域に暮らす外国人とのコミュニケーションの推進のためにできることは何だと思いますか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 外国の文化、生活習慣を理解する
- 2 日頃から、外国人と言葉を交わす
- 3 日本語、日本の習慣を外国人に紹介する
- 4 外国語を習得するよう努める
- 5 外国人との交流会など、国際交流の行事に参加する
- 6 その他()
- 7 特にない

問 18 住民相互の理解を深めるために、地域に暮らす外国人に求めることは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 日本語を勉強し、会話ができるようにする
- 2 日本の日常生活における習慣やルールを守る
- 3 近所の人へのあいさつや声をかけあう
- 4 地域の行事に積極的に参加する
- 5 日本人に対する先入観を持たない
- 6 日本の伝統・文化や風習を理解する
- 7 外国の言葉や文化を教えてほしい
- 8 その他()
- 9 特にない

3. 多文化共生のまちづくり

問 19 多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくこと」をいいます。あなたは多文化共生社会という言葉を知っていますか。(ひとつだけ○)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、内容は知らない
- 3 知らない

問 20 台東区では、他の国籍の方とコミュニケーションを取るために、長い文章を短くしたり、簡単な言葉に言い換えたりする「やさしい日本語」の活用を推進していますが、あなたは、「やさしい日本語」を知っていますか。(ひとつだけ○)

- 1 知っていて、使ったことがある
- 2 知っているが、使ったことはない
- 3 聞いたことはあるが、内容は知らない
- 4 知らない

問 21 台東区が実施している多文化共生に関する取組で知っているものは何ですか。当てはまるもの全てにお答えください。(当てはまるもの全てに○)

- 1 生活する上で必要な情報を多言語でまとめた「生活便利帳」の発行
- 2 生活に役立つ情報や行政情報を英語、中国語、韓国語、やさしい日本語で年 4 回発行する「多言語情報紙」の発行
- 3 多言語対応デジタルブック(カタログポケット)による情報発信
- 4 外国人相談窓口の運営
- 5 多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応
- 6 外国人のための日本語教室の実施
- 7 日本人と外国人の交流事業
- 8 「やさしい日本語」の普及・啓発を目的とした講座の実施や冊子の発行
- 9 外国から区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校へ新たに編入した幼児・児童・生徒を対象とした日本語指導講師の派遣
- 10 区立幼稚園・保育園・こども園及び小・中学校を対象に、日本語の理解が不十分な保護者との面談や教育相談などを支援する通訳の派遣
- 11 特にない

問 22 地域の中で日本人と外国人が理解しあい、共に生きていくまちづくりを進めるために、台東区が力を入れるべきだと思うことは何ですか。(当てはまるもの全てに○)

- 1 区立施設の多言語対応・表示
- 2 外国人向けの日本語習得支援
- 3 生活情報の発信・多言語対応
- 4 相談体制の充実・通訳配置(多言語ビデオ通訳タブレット等での窓口対応を含む)
- 5 防災面の対策
- 6 子育て・教育面の支援
- 7 医療・福祉面の支援
- 8 就労・事業経営の支援
- 9 日本人向けの多文化共生に関する意識啓発
- 10 日本人と外国人の交流の機会の充実
- 11 外国人の地域社会への参加支援
- 12 その他()
- 13 特にない

問 23 地域に暮らす外国人に期待することはありますか。ご自由にご記入ください。

問 24 台東区における多文化共生の推進について、ご意見がありましたらご記入ください。

— ご協力、どうもありがとうございました。 —

ご記入いただきました調査票は、恐縮ですが、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに

9月10日(木曜日)まで に郵便ポストに入れてください。

■地区一覧表

ご自身のお住まいの地区を確認する際にご覧ください。

町名 頭文字	町名	丁目	番	号	地区		
あ	秋葉原	全			竹町地区		
		1丁目	全		雷門地区		
	浅草	2丁目	1~12番			馬道地区	
			13~27番			雷門地区	
		28~35番			馬道地区		
		全			馬道地区		
5丁目	1~59番			清川地区			
6~7丁目	全			馬道地区			
い	浅草橋	1~5丁目	全		浅草橋地区		
	池之端	1~4丁目	全		上野地区		
う	今戸	1~2丁目	全		清川地区		
		入谷	1丁目	1~28番		入谷地区	
	29~31番					金杉地区	
	2丁目	32~33番			入谷地区		
		1~33番			金杉地区		
	34~39番			金杉地区			
え	上野	1~2丁目	全		上野地区		
		3丁目	1~9番			竹町地区	
			10番~29番			上野地区	
		5丁目	1~9番			竹町地区	
	10番		1~6号			竹町地区	
			7~22号			上野地区	
	11~14番				竹町地区		
	15~27番			上野地区			
	6丁目	全			上野地区		
	7丁目	1~12番			入谷地区		
		13番			入谷地区		
	14~15番			上野地区			
	上野公園	全			上野地区		
	上野桜木	1丁目	1~13番			谷中地区	
14番			1~7号			上野地区	
		8~53号			谷中地区		
54~66号				上野地区			
2丁目	全			谷中地区			
か	雷門	1~2丁目	全		雷門地区		
き	北上野	1~2丁目	全		入谷地区		
	清川	1~2丁目	全		清川地区		
く	蔵前	1丁目	全		浅草橋地区		
		2~4丁目	全				
こ	小島	1~2丁目	全		浅草寿地区		
	寿	1~4丁目	全				
	駒形	1~2丁目	全				
し	下谷	1丁目	全		入谷地区		
		2丁目	1~15番			金杉地区	
			16番~23番			入谷地区	
		24番			金杉地区		
3丁目	全			金杉地区			
せ	千束	1丁目	全		馬道地区		
		2丁目	1~32番			金杉地区	
			33~36番			金杉地区	
		3丁目	全			馬道地区	
			1~10番			清川地区	
		4丁目	11番	1~13号			馬道地区
				14号の一部			清川地区
			14号の一部			清川地区	
			15~22号			馬道地区	
			23~32号			馬道地区	
12~33番				清川地区			
34~39番			清川地区				
40~49番			馬道地区				
50~51番			清川地区				

町名 頭文字	町名	丁目	番	号	地区	
た	台東	1~4丁目	全		竹町地区	
		1~2丁目	全		浅草橋地区	
に	西浅草	1~3丁目	全		雷門地区	
		日本堤	1丁目	全		清川地区
	2丁目		1~35番			金杉地区
	36~39番			金杉地区		
ね	根岸	1~2丁目	全		入谷地区	
		3丁目	1~14番			入谷地区
			15番			金杉地区
		16番	1号			金杉地区
			2号の一部			入谷地区
		2号の一部			入谷地区	
		3~10号			金杉地区	
		11~17号			金杉地区	
		17番			入谷地区	
		18番	1~2号			金杉地区
			3~20号			入谷地区
		21~24号			金杉地区	
		19~25番			入谷地区	
		4丁目	1番			金杉地区
2~10番				入谷地区		
11~19番			金杉地区			
5丁目	全			金杉地区		
は	橋場	1~2丁目	全		清川地区	
	花川戸	1~2丁目	全		雷門地区	
ひ	東浅草	1~2丁目	全		清川地区	
		1~3丁目	全		東上野地区	
	4丁目	1~2番			上野地区	
		3~4番			上野地区	
		5~7番			東上野地区	
		8~9番			上野地区	
	10~26番			東上野地区		
	27番	1~5号			上野地区	
		6号の一部			東上野地区	
	6号の一部			東上野地区		
7~11号			上野地区			
12~16号			上野地区			
5丁目	全			東上野地区		
6丁目	全			東上野地区		
ま	松が谷	1~2丁目	全		雷門地区	
		3丁目	1~9番			入谷地区
			10~23番			入谷地区
		4丁目	全			入谷地区
み	三筋	1~2丁目	全		浅草寿地区	
	三ノ輪	1~2丁目	全		金杉地区	
も	元浅草	1~4丁目	全		浅草寿地区	
や	谷中	1丁目	1番の一部		上野地区	
			1番の一部		谷中地区	
		2~7丁目	全		谷中地区	
り	柳橋	1~2丁目	全		浅草橋地区	
	竜泉	1~3丁目	全		金杉地区	